



こどもたちに 夢と未来をつなぐまち

平成 30 年 (2018 年)

広報 ふるさと香美

HOME KAMI Public Relations

5

No.1 5 8



今月の主な内容

- P 2 特集 防災対策の取組を強化します
- P 4 おしらせ 4月1日付、新規採用職員を紹介します ほか
- P 7 連載 けんこう広場 ほか
- P 1 4 フォトニュース
- P 1 6 香美町おさかな通信
- 表紙 おはなしの国で絵本の読み聞かせを楽しむ親子

重点施策【防災の強化】

防災対策の 取組を強化します

●問い合わせ先 役場防災安全課

「防災安全課」を設置

東日本大震災、一昨年の熊本地震および鳥取県中部地震、昨年の九州北部豪雨など、年々深刻さを増す自然災害の脅威にさらされる中、防災対策の重要性が叫ばれています。本町も昨年の台風による被害状況から災害対策の重要性を再認識しました。

そこで、近年の気象変動に伴い頻発する激甚災害や、将来予想される大地震などの発生に備えるとともに、本町の防災対策の取組を強化するため、新たに「防災安全課」を設置しました。

これにより、台風、地震、津波などの自然災害への対応、防災、水防対策をはじめとする庁内の危機管理対策を



行い、有事における庁舎内の配備体制をより効果的なものに確立します。併せて、区・自治会や自主防災組織、関係機関との連携をさらに強化し、町民の安全・安心のための体制づくりを努めます。

防災行政無線の整備

平成25年度から26年度にかけて小代区および村岡区の防災行政無線の整備を行いました。

香住区の整備については、本年度と来年度の2カ年で事業を実施します。本年度は、屋外拡声子局と戸別受信機の一部を整備し、来年度に残りの戸別受信機を整備します。

これにより、防災行政無線は全町でデジタル化されることとなります。

また、防災対策として箇所別土砂災害危険度予測システムを導入し、10mメッシュおよび土砂災害警戒区域ごとに危険度を判定することが可能となり、的確な場所とタイミングで警戒情報が伝達できるようになります。



▲戸別受信機

給水車を配備

災害時や水道の事故などにより長期の断水になった場合の備えや災害時の他市町支援に対応できるように給水車を配備しました。事業費は814万円。

この給水車は、2千ℓの水を積載し、一度に約660人に水を供給できます。また、一般の給水も4カ所からポリ容器や給水袋などに給水できるほか、加圧ポンプを搭載し、避難所などの受水槽にも給水が可能となっています。



▲新しく配備された給水車

兵庫県但馬地域合同防災訓練

9月2日(日)、本町で、兵庫県但馬地域合同防災訓練が開催されます。但馬各市町や自衛隊、海上保安庁など各関係機関も加わり、津波を想定した実践的な訓練により防災意識の高揚と防災体制づくりを進めます。

消防施設整備

消防施設整備は、年次計画により行っていますが、本年度は村岡特設第2分団の消防ポンプ自動車の更新と村岡特設第1分団および村岡第1分団の消防ホース乾燥塔整備を実施し、消防防力の強化を図ります。

さらに、消防団員に新基準の活動服を新たに配備し、夜間活動時などでの団員の安全確保を図ります。

平成30年度出初式

4月8日(日)、香住区中央公民館で行われた香美町消防団出初式には、今後武司団長以下492人が出席。多数の来賓が見守る中、役員に対する辞令交付や新入団員の任命(分団長以上は下記のとおり)、長年にわたる消防活動への功績に対する表彰などが行わ

れました。

冒頭、浜上町長は7年が経過した東日本大震災に触れ、その遺族や被災者に対してお見舞いの言葉と一日も早い復興への願いを述べた後「昨年度は台風18号、21号が本町に接近し、一部地域に避難勧告を発令しました。消防団員の皆さんには管内の警戒、土のう積み、交通整理などにあたっていただきました。また、本年1月末から2月中旬にかけて本町沿岸部では大雪に見舞われました。大きな災害や事故は発生しませんでした。これらの要因は常に潜在していることを十分認識していただきたい」と式辞を述べました。

今後団長は「団員の生命を最優先に活動していただき、団員としての自覚と資質の向上にさらに努力し、優れた知識と技術を身に付け、常に危機意識を持つて住民の期待に応えていただきたい」と訓示を行いました。

また、新たに基本団員30人と機能別団員2人が入団。代表して香住第2分団の松本竜也さんが「一日も早く知識と技術を身に付け、地域の防災活動の中核として住民の期待に応えることができるよう努力します」と力強く誓いました。

式典の終わりに香美町議会上田勝幸議長の発声により、消防団の発展と災害のない1年を祈って万歳三唱が行われました。

香美町消防団(分団長以上)

敬称略

◇団長：今後武司

【香住支団】

◇副団長兼支団長：磯田啓介

◇副団長兼副支団長：橋本昭弘、渡邊孝、中村悟

◇分団長

・支団本部：清水容和、馬場一壽、濱本幸広、今西康喜

・香住特設分団：吉野渉史

・香住第1分団：田中竜二

・香住第2分団：中村修

・香住第3分団：永田剛

・香住第4分団：白井宏昭

・香住第5分団：関久憲

・余部分団：上根聡

・柴山分団：松井巨樹

・佐津分団：原弘一

・奥佐津分団：秋山大吾

・長井第1分団：原田淳平

・長井第2分団：橋下幸雄

【村岡支団】

◇副団長兼支団長：古家学

◇副団長兼副支団長：石井勇、長岡裕文、西村一敏

◇分団長

・支団本部：小谷佳和、西崎昭、石井精一、西田一彦、森垣文裕、山田貴広

・村岡特設第1分団：山田桂司

・村岡特設第2分団：井上政志

・村岡特設第3分団：中根敏彦

・村岡第1分団：井口栄作

・村岡第2分団：小林久之

・村岡第3分団：上田昌司

・村岡第4分団：大林一樹

・村岡第5分団：福井一雄

・村岡第6分団：山本茂行

・村岡第7分団：上田勝也

・村岡第8分団：古川正信

・村岡第9分団：中村和成

【小代支団】

◇副団長兼支団長：邊見八郎

◇副団長兼副支団長：西村吉弘、古岡敏幸

◇分団長

・支団本部：田中公雄、中村達也、古岡恵祐、田村正倫

・小代特設第1分団：小林保則

・小代特設第2分団：小林裕二

・小代第1分団：井上拓也

・小代第2分団：井上武志

・小代第3分団：田淵祐介

・小代第4分団：上田清吾

・小代第5分団：谷川大介

・小代第6分団：毛戸勝也

よろしくお願ひします

4月1日付、新規採用職員を紹介します

●問い合わせ先 役場総務課



税務課 濱本凌維^{りょうすけ}

出身は香住区若松です。
ふるさとの職員として働けることに大きな喜びと誇りを感じています。

町民の皆さん、職員の皆さんに信頼してもらえる職員になれるよう、一つ一つの業務に誠心誠意取り組みます。



町民課 上垣潤桜^{じゆんき}

出身は香住区間室です。
生まれ育った町で働くことをうれしく思います。

私を育ててくれた海・山・川・自然があふれる素晴らしいこの町に恩返しができるように、今まで培ってきた経験を生かし、町民の皆さんの期待に応えたいと思います。



健康課 上治遼哉^{りょうや}

出身は小代区水間です。
豊かな自然・文化、温かい人が魅力的なこの町を多くの人に知ってもらいたい、生まれ育った町に恩返しをしたいという思いで町職員になりました。

町民の皆さんが豊かで幸せな生活を送れるよう、精一杯頑張ります。



建設課 北脇修平^{しゅうへい}

出身は香住区香住です。
生まれ故郷である、この町で働けることをうれしく思います。
この町に暮らす皆さんが安心、安全で、楽しい毎日を過ごせるようお手伝いさせていただきます。

より良い町にしたいという「熱い思い」を胸に頑張ります。



上下水道課 西谷勇祐^{ゆうすけ}

出身は村岡区大笹です
町職員として働けることに感謝し、町民の皆さんの生活をより良いものにできるように、精一杯頑張ります。

今後もこの町の良い所を探し、もっと好きになりたいと思いますので、一緒にこの町を明るくしていきましょう。



健康課 小澤真悠子^{まゆこ}

出身は神戸市です。
歯科衛生士として地域の皆さんの健康が守れるような仕事がしたいと思い、縁があつて香美町職員として勤務することになりました。

自身の専門性を生かし、町民の皆さんが健康に暮らしていただけるように精一杯頑張ります。

平成30年度 中途採用職員

公立香住病院の正規・臨時職員を募集します

問い合わせ（提出）先 公立香住病院

●職種、採用予定人数

▽正規職員

- ① 薬剤師…1人
- ② 看護師…若干人

▽臨時職員

- ③ 看護師…若干人
- ④ 自動車運転員…若干人
- ⑤ 宿日直代行員…1人
- ⑥ 介護員…若干人

●受験資格など

- ①②…昭和41年4月2日以降に生まれた人で、薬剤師、看護師の免許を持つ人。
- ③…昭和32年4月2日以降に生まれた人で、看護師の免許を持つ人。
- ④…昭和30年4月2日以降に生まれた人で、普通自動車運転免許を持つ人。
- ⑤…昭和30年4月2日以降に生まれた人。
- ⑥…昭和47年4月2日以降に生まれた人で、介護職員初任者研修過程を修了した人または介護福祉士の資格を持つ人。

●試験予定日および受付期間

下表のとおり

●試験方法

- ①②…能力検査、性格検査および個別面接を行います。
- ③④⑤⑥…個別面接を行います。

▼試験予定日および受付期間

	受付期間	試験予定日
第1回	5月11日(金)～31日(木)	6月7日(木)
第2回	6月8日(金)～29日(金)	7月12日(木)
第3回	7月13日(金)～31日(火)	8月9日(木)
第4回	8月10日(金)～31日(金)	9月13日(木)
第5回	9月14日(金)～28日(金)	10月11日(木)
第6回	10月12日(金)～31日(水)	11月8日(木)
第7回	11月9日(金)～30日(金)	12月6日(木)
第8回	12月7日(金)～28日(金)	平成31年1月10日(木)
第9回	平成31年1月11日(金)～31日(木)	平成31年2月7日(木)
第10回	平成31年2月8日(金)～28日(木)	平成31年3月7日(木)

受付時間…午前8時30分～午後5時15分(土日祝日を除く)
10回の試験を予定していますが、予定人員に達し次第、受付を終了します。

●採用予定日

各試験日の属する月の翌月の1日付け。ただし、第10回は試験日の属する月の採用。

●提出書類

市販の履歴書に必要な事項を記入し、免許・資格を証明する書類の写しを添付して同病院事務局に提出してください(郵送可、ただし期間内必着)。

香美町地域産業活性化人材育成支援事業

町内の事業所を応援します！

問い合わせ先 役場観光工商課・各地域局

●町では、町内事業者の技術力および経営力などの向上を図ることを目的として、従業員などに行う人材育成事業に対し、事業者が実施する研修会、または従業員が受講する研修などの経費の一部を助成します。

ただし、対象となる従業員は、正規雇用のみです。

●対象事業・助成内容

- ① 研修を事業者自ら開催する事業…上限5万円
- ② 研修などに従業員を派遣し、受講させる事業…上限2万円
- ③ 資格の取得(国家資格など)および技術の取得のために従業員を派遣する研修…上限2万円
- ④ 事業者が推奨する資格の取得などを目的とした通信講座…上限2万円
- 補助対象経費
会場使用料、講師謝金、交通費、受講料、テキスト代など
- 補助内容
他の助成金などがある場合、その額を控除した経費が、1事業1回または1人につき5千円以上の場合、2分の1以内の補助をします(ただし、上限あり)。

●その他

- ① すべての事業の補助金の額の合計が1事業所20万円を限度とします。
- ② 本事業は予算がなくなり次第終了します。

その他にも町では、次の支援制度を設けています。ぜひ、ご活用下さい。

- ① 中小企業振興資金融資制度
事業所の資金繰りを支援します。
- ② 企業立地促進事業
工場の新設、増設を支援します。
- ③ ものづくり支援事業
新商品の開発、製品改良に要する経費を補助します。
- ④ 起業・創業支援事業
創業を目指す人へ経費を補助します。
- ⑤ クラウドファンディング事業
インターネットを活用した、資金調達に要する経費を補助します。
- ⑥ 事業承継支援事業
後継者移行に向けた問題解決などに向けて専門家を派遣します。
- ⑦ 社員住宅改修費補助金
雇用確保に向け、社員住宅の改修などに要する経費を補助します。

ヘルプマーク・ヘルプカードを交付します

配慮が必要な人のためのマークです

●問い合わせ（申し込み）先 役場福祉課・各地域局

日常生活の中で、少し手を貸してほしいときや配慮してもらいたいときに声に出して伝えることが難しいときはありませんか。

外見から分からなくても援助や配慮を必要としている人が、援助を得やすくなるように身につけて利用する「ヘルプマーク」を利用希望者に交付します。また、配慮などを必要とする場面で提示して利用する「ヘルプカード」も併せて交付します。

ヘルプマークやヘルプカードを見かけたら、電車やバスの中で席をゆずる、困っているようであれば声をかけるなど、思いやりのある行動をお願いします。

●ヘルプマークとは

周囲の人に、援助や配慮が必要なことを知らせることができるマークです。シリコン製のタグで、かばんに装着するなど身につけて利用します。



▲ヘルプマーク

●ヘルプカードとは

障害がある人などが困ったときに助けを求めるときのもの、「手助けが必要な人」と「手助けできない人」を結ぶカードです。

名刺サイズのカードで、配慮などを必要とする場面で提示して利用します。



▲ヘルプカード

●対象者

「援助や配慮を必要としている人」ならどなたでも利用できます。
・義足や人工関節を使用している人
・内部障害や難病の人
・妊娠中の人
・一時的な傷病がある人など
※1人1個（枚）までで、ヘルプマークとヘルプカードの同時交付は可能
です。

●申請方法

役場福祉課または各地域局に備え付けの申請書を提出してください。即日交付します。

手話講座「基礎課程」を開催します

手話に興味がある人を募集します

●問い合わせ（申し込み）先 役場福祉課

聴覚障害者とコミュニケーションしながらボランティア活動をしようとする人や、手話に興味のある人を対象に、手話奉仕員の養成講座を開催します。これまでに「入門課程」を受講した人、応用的な手話を身につけたい人を対象に参加者を募集します。

●とき

6月1日（金）～12月21日（金）の毎週金曜日（6月8日、9月28日、10月19日、11月23日、12月14日は除く）午後7時30分～9時

●ところ

香住区中央公民館など

●対象者

町内在住、在勤、在学（高校生以上）で手話奉仕員養成講座「入門課程」を受講済みの人
※子ども連れの受講は不可

●内容

相手の手話が理解でき、手話で日常的な会話などができるよう、手話の応用的な知識や技術を身に付ける。

●受講料

無料

※ただしテキスト代が必要です。

●申込期限

5月29日（火）午後5時15分

社会福祉事業所の皆さんへ

NHK放送受信料免除基準の変更

●問い合わせ先 役場福祉課

日本放送協会放送受信料免除基準が次のとおり変更となりましたので、ご確認ください。

●免除基準の変更内容

平成30年4月から、社会福祉法に規定されているすべての社会福祉事業を行う施設または事業所が全額免除の対象となります。

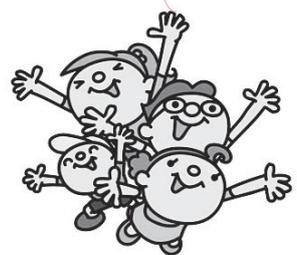
※免除対象となるのはこれまで同様、入所者・利用者の専用に供するために設置された受信機のみです。

●申請窓口

NHK 阪神営業センター
TEL 06・4960・2213
平日の午前10時～午後5時

けんこう広場

● 問い合わせ先 役場健康課



平成30年度香美町健康スローガン 早おき早ね朝ごはん こまめに動いて

健口生活【栄養編】

朝食の役割

より良い朝食にするために

町では健康スローガンを定め、生活習慣病を予防するための健康づくりを進めています。

① 規則正しい生活を送る

② 身体活動量を増やす

③ 口腔ケアを実践する

の三本柱を健康づくりの目標にしています。目標の内容を「睡眠編」「栄養編」「運動編」「口腔編」に分けて内容を説明します。

第2回目は「栄養編」です。

3度の食事の中でも、1日のスタートである朝食はとても大切です。「朝は時間がないから」「お腹がすいていないから」と朝食を抜いてしまうと、体温が上がらず、エネルギーが不足して集中できなかつたり、ぼんやりしたりしたまま過ごすことにもつながります。その日の活力の源を作り出す朝食はしっかりと食べるようにしましょう。

① 脳の働きを活発にします

脳のエネルギー源であるブドウ糖は寝ている間に使われ、足りなくなりますが、ブドウ糖を朝食でしっかりと補給することで、脳の働きが活発になり、集中力が高まります。

朝は何も食べないという人は、まずは何か食べる習慣をつけましょう。ヨーグルトや牛乳、果物など手軽で食べやすいものがおすすめです。

食べる習慣のある人は、主食（ご飯、パンなど）・主菜（魚、肉、卵、大豆製品など）・副菜（野菜、きのこ類など）を揃えて食べることを意識してみましょう。前日の夕食のおかずを多めに作る、具沢山のみそ汁を準備しておくなど少し工夫をすれば、手間も時間もかかりません。

② 体温を上昇させます

寝ている間に下がった体温は、朝食を食べることで上昇し、眠っている体を目覚めさせ、体内の働きを活性化させます。

食パンを食べるといふ人は、レタスやハムを挟んでサンドイッチにするのもおすすめです。

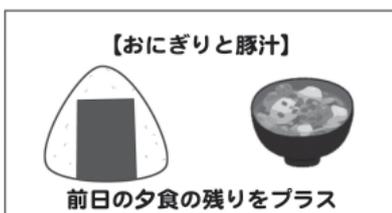
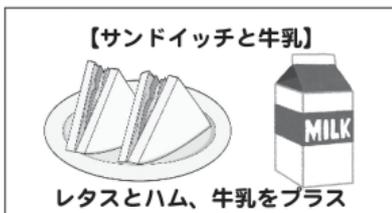
寝る時間が遅くなり、朝ギリギリに起きてしまうと、朝食を抜いてしまいがちになります。そうならないためにも、夜食や夜更かしは控え、しっかりと朝食を取りましょう。

③ 排便を促進をします

朝食を食べることで消化器系が活動を開始し、排便を促して便秘を防ぎます。

寝る時間が遅くなり、朝ギリギリに起きてしまうと、朝食を抜いてしまいがちになります。そうならないためにも、夜食や夜更かしは控え、しっかりと朝食を取りましょう。

<簡単♪いつもの朝食にプラスするだけでバランスUP>



香美町 ならではの 教育の挑戦

●問い合わせ先 町教育委員会教育総務課

保・幼・小・中・高が連携し合う教育

本町では、「地域を紹介し、ふるさとを語れる子ども」や「自己表現力の豊かな子ども」など、中学校区単位で目指すべき子どもの姿や、人間像を共有し、小・中学校それぞれの独自性を維持しながら、学習面や生活面で連携し合う教育を進めています。

また、保育所、認定こども園、幼稚園でも、園児の資質や能力が小学校教育へ引き継がれるよう、幼稚園の教員などが小学校の教員と意見交換をし「就学するまでに育てほしい姿」の共有に努めるなど、発達段階に応じて、保育所、認定こども園、幼稚園、小学校、中学校が連携し合う「一貫化教育」に取り組んでいます。

今回は本町が行っている取組の例を紹介します。

「乗り入れ授業」の実施

「乗り入れ授業」とは、中学校の教員が小学校で指導を行う、または小学校の教員が中学校で指導を行うものです。小代小学校の5・6年生では、総合的な学習の時間を使い、国際理解教育の一環として、小代中学校の教員を招いた英語の授業を月2回程度行っています。

主に学級担任の授業を受けることが多い小学生は、中学校の教員の授業を、新鮮な気持ちで受けることができ、内容に興味を持つことができます。また、後に中学校に進学し、環境が変わることに対する子どもたちの不安感を和らげることができます。さらに、英語を教えることがあまりなかった小学校の教員が中学校の教員と協力して授業を行うことで、指導力が向上します。

今後子どもたちの学力が向上するよう、小・中学校の教員が、連携を密に行い、一貫化教育の取組を継続します。



▲小代小学校での乗り入れ授業の様子

連携した「あいさつ運動」

本町では「3つの町民運動」の一環として、保・幼・小・中・高が連携した「あいさつ運動」に取り組んでいます。

特に毎月第1月曜日の3つの町民運動の日には中学生や高校生が、小学校・幼稚園の校門前などに立ち、さわやかなあいさつで子どもたちを迎えています。

例えば、村岡小学校では、村岡高校の生徒たちが、登校してくる園児・児童に啓発パネルを使ったあいさつ運動を推進しています。

気持ちの良いあいさつは、温かい人間関係をつくることができます。年齢の近い高校生に影響を受けながら、子どもたちは、素敵なあいさつを校区に広げています。



▲村岡小学校であいさつ運動を行う村岡高校の生徒

活動報告会を開催しました

香美町地域おこし協力隊の活動内容や地域における暮らし、今後の目標などを知ってもらおうと「平成29年度香美町地域おこし協力隊活動報告会」が開催されました。

平成28年4月から木の駅プロジェクトを担当する北田茜隊員は、同プロジェクトへの登録状況や出荷状況、グリーンチケットの利用状況などを発表しました。

同年8月から水産業振興・PR活動を担当する鈴木俊哉隊員は、オリジナル商品の開発や販売、地域での活動、隊員間の活動などを発表しました。

平成29年4月から移住サポーターを担当する鍛冶本美和隊員は、空き家バンクの登録件数や利用登録件数、成約件数、問題点などを発表しました。



第14話



▲活動報告をする鈴木隊員

同年10月から日本で最も美しい村・香美町小代を担当する河田愛隊員は、インスタグラムなどSNSを使った情報発信や5万人の写真展などの取組を発表しました。

任期終了まで1年余りとなった鈴木隊員は「町や出向先、地域の皆さんに協力をしていただき、感謝しています。目的が達成できるよう頑張っていきたいです」と語ってくれました。

新たに3人の地域おこし協力隊が着任しました

地域の活性化や移住定住などを進めていくため、4月1日付で新たに3人の地域おこし協力隊が着任しましたので、紹介します。



齋藤 瑞貴
(大阪府吹田市出身)
移住サポーター・移住定住支援

リノベーションツアーと三番叟をきっかけに香美町の皆さんの人柄や山と海に囲まれている環境に魅了され、この地をもっと知りたい、たくさんの方に知ってもらいたいという思いを抱きました。

協力隊の一員として、人と人をつないでいくために私の人脈やできることを生かし、地域の人と話をしながら、一緒に「場づくり」をしたいです。

「農山村のむらおこし・まちおこし」を、高校教育というアプローチで取り組みたいと思います、村岡高校教育コーディネーターに応募しました。

小学生から大学生まで取り組んできた野球で養った体力を武器に、元気に頑張りますので、よろしくお願ひします。



房安 晋也
(鳥取市出身)
高校支援教育コーディネーター

「比べたり比べられたりって疲れませんか？あなたしか創り出せないモノ、このまちで見つけてください！」

地域おこし協力隊の応募欄にあったキャッチコピーです。

「私にしか創り出せないモノってなんだろ？」それを私も見つけて、自信にしたいと思います。

私にしかできないこと、私にしか見つけられないものがきっとあると思いますので、よろしくお願ひします。



西川 禔
(大阪府高槻市出身)
観光情報発信推進



こんにちは。
いいきいき相談センターです

いいきいき相談センター(香美町 地域包括支援センターの愛称)は、いつまでも住み慣れた地域で生き生きと暮らしていけるよう、高齢者やその家族の皆さんを、医療、保健、福祉および介護などのさまざまな方面から総合的に支援する地域の拠点となる機関です。

同センターでは主任ケアマネジャー、保健師、社会福祉士などの専門職が集まり、互いに連携を取りながら、「チーム」として総合的な支援を行います。

具体的な業務内容としては

① 地域での生活を支援します (介護予防ケアマネジメント業務) 身体機能を低下させないための

介護予防教室や皆さんの住む地域に出向き、いいきいき講座を行います。

② 暮らしやすい地域をつくります (包括的・継続的ケアマネジメント業務)

一人一人の状況に合わせて、途切れることなく必要なサービスが提供されるようケアマネジャーの支援や、さまざまな関係機関とのネットワークづくりを行います。

③ 皆さんの権利を守ります (権利擁護業務)

金銭管理や契約に不安がある、頼れる家族がいないなどの場合は成年後見制度の相談に応じます。

④ お気軽ににご相談ください (総合相談事業)

介護に関すること、健康や福祉、医療、生活に関することなど、高齢者の皆さんやその家族、近所にお住まいの皆さんもお気軽にご相談ください。



▲いいきいき相談センターのスタッフ



●問い合わせ先 役場農林水産課

地域ぐるみで鳥獣害をストップ!

町内各地で、大切に育てた農作物が有害鳥獣(野生動物)に食い荒らされるなどの被害が増加しています。また、ニホンザルや冬眠から目覚めたツキノワグマなどの出没に注意が必要な時期になりました。

電気柵などで有害鳥獣を防除することも有効ですが、野生動物を近づかせない環境作りや追い払って山へ返すことも重要な対策の一つです。

地域ぐるみで有害鳥獣から農作物や平穏な生活を守りましょう。

■ニホンザル対策

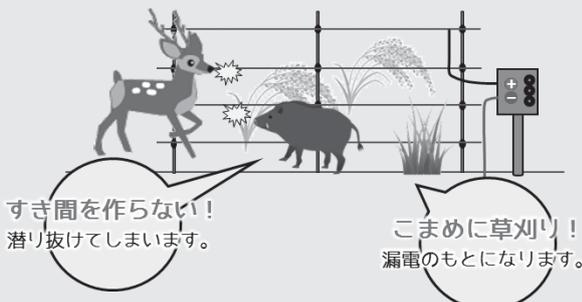
- ◇防護柵
- ニホンザルは非常に学習能力が高いため、柵線だけでなく支柱に触っても感電する「おじろ用心棒(サル用通電式ワイヤーメッシュ柵)」がおすすめです。
- ◇追払いのコツ
- ① できるだけ多人数でしつこく!
- ② 地域ぐるみの追い払いが効果大!
- ③ 口ケット花火や電動ガンを活用!

■イノシシ・シカ対策

- ◇防護柵
- イノシシやシカには、安価で設置が簡単な「電気柵」がおすすめです。イノシシは飛び越えるより、柵をくぐり抜ようとするため、柵を鼻先で触って確かめます。電気線は鼻先の高さにし、くぐり抜けないように張る必要があります。
- ニホンジカは、2m以上のジャンプ力があり、3〜4段以上の電気柵が効果的です。
- 設置後は、定期的に点検やメンテナンスを行いましょ。

■鳥獣害対策Ⅱ地域振興

地域ぐるみで鳥獣害対策に取り組むことで、団結力が生まれ、地域課題解決の一端を担うことが期待されます。





香美町環境美化推進協議会では、3月23日（金）に、不法投棄防止パトロールを実施しました。

推進委員、美方警察署、但馬県民局、町議会議員および事務局の合計20人で

香住区内の3カ所を視察し、不法投棄の現状を確認しました。

今子浦では、農業用の袋にごみが詰めて捨てられていたり、県道香美久美浜線沿いの斜面では、ペツ

トボトルや缶がそのまま捨てられていたり、同じ不法投棄でも、場所による違いが見られました。

パトロール後に実施した取りまとめ会議では、「地域への啓発をより増やしたほうが良い」「不法投棄は場所によって捨てられているものが違うため、それぞれに応じた対策が必要である」といった意見が出されたほか、不法投棄の防止看板についても、「ある程度の効果があるが、看板付近にごみがあると逆効果になるため、定期的な清掃が必要である」といった意見がありました。

不法投棄は捨てる人のモラルの問題です。本協議会では、今後も、環境美化に対する意識の向上に取り組みます。



▲不法投棄されたごみを回収する様子（今子浦）



▲不法投棄の現場確認をする様子（県道香美久美浜線沿い）



消費生活相談

賢い消費者になりましょう！

新品じゃなかった!?

～フリマアプリのトラブルに要注意～

【事例】

スマホのサイトで見つけたフリマアプリで「新品で未使用」と紹介されたブランドTシャツを購入した。ところが、届いたTシャツは偽物のようで、ボールペンの落書きもあり、新品でもなかった。

売主と交渉して返品に応じてもらえたので郵送したのに、「このTシャツはうちのではない」と難癖を付けられて返金されない。

フリマアプリの運営会社にも相談したが、「お客様同士で解決ください」と言われた。

返金してほしい。

【ひとことアドバイス】

- ◆フリマアプリでは、金銭や品物のやり取りは運営会社が仲介しますが、基本的に個人間売買になるため、トラブルが発生した場合は、当事者間で解決するのが原則となっています。
- ◆また、「安さにひかれて注文し、代金を振り込んだが商品が届かない」「出品した商品を発送したが入金されない」といったトラブルが増えています。
- ◆売るのも買うのも「自己責任」というリスクを認識して利用しましょう。
- ◆フリマアプリで取引をする際は、アプリの規約をよく読み、そのうえで、出品者が設定したルールの確認や商品、送料などについての情報収集をしっかりと行い、慎重に利用しましょう。

相談は
こちらへ...

役場消費生活センター（町民課内）
TEL 0796・36・1941（直通）
たじま消費者ホットライン
TEL 0796・23・1999
※相談無料で秘密は厳守!!

文芸かみ



真砂俳句会
4月句会から

悠久の海の句碑かな糸桜

水草生ふ軒にゆれいし嬰のもの

花菜風どの娘も同じ長い髪

寒昂今は恋しき一徹さ

微動だもせず春波の海胆海星

文字小さき昭和の全集啄木忌

移民村の哀史や宮の櫂の芽

春の磯波うち返す藻のみどり

囀りや大きな耳の野の地蔵

芽柳の風や直哉の文学碑

クレヨンの色の豊かやチュウリップ

若布干す海辺で暮らす老夫婦

辛夷咲きいよいよ山が動き出す

有田 美代子

今西 政枝

小川 サヨ子

奥西 澤子

川端 静子

駒居 君香

高橋 二三子

谷脇 政江

長扶 微子

長谷川 喜美

福田 恵津子

村瀬 美智子

森田 淳子

◆定例会 (香住文化会館)

毎月第一火曜日 午後1〜4時

(掲載は氏名の五十音順)

緑の募金

●問い合わせ先 役場農林水産課・各地域局

「防ごう地球温暖化」をスローガンに今年も全国で募金活動が行われます。

集まった募金は、集落での樹木の植栽への助成や、学校による花づくり運動に活用しています。

今年も活動の主旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。

●募金期間

5月〜6月

●募金方法

後日、区長・自治会(区)長を通じてチラシなどでお知らせします。

第41回香住ふるさとまつり

「海上花火大会」募金箱を設置

●問い合わせ先 香住ふるさとまつり総合委員会(役場観光商工課内)

今年の香住ふるさとまつり

「海上花火大会」は、7月21日(土)に開催します。

香住ふるさとまつり総合委員会では、現状の規模を維持できるよう、募金箱を役場本

庁舎1階の香美ホールと各地域局の窓口付近に設置します。

今年も鮮やかで盛大な花火を楽しめるよう、皆さんのご協力をお願いします。



緑の募金

■編集後記■

初夏の風がすがすがしい季節となりました。今月の表紙は、香住区中央公民館で行われている「おはなしの国」での絵本の読み聞かせの様子です。

このおはなしの国は、昭和60年11月に香住町中央公民館(現在の香住区中央公民館)が完成し、当時の香住町に初めて図書室ができたことをきっかけに始まり、32年間続いているとのことです。

現在も町教育委員会は、3つの町民運動の1つとして「読書」を掲げ「町じゅう図書館」の取組を推進しています。

このおはなしの国では、絵本の読み聞かせとストーリーテリングを、毎月第2土曜日の午後2時から行っていますので、皆さん、ぜひ参加してみませんか。(木)

あまるべ春のワクワク感謝祭

3月25日、道の駅あまるべ、空の駅公園



▲多くの来場者でにぎわう空の駅公園

余部クリスタルタワーの完成に合わせ余部地区の振興を図ろうと、余部振興会が「あまるべ春のワクワク感謝祭」を開催しました。

会場には、余部地区の各団体がジビエカレーや手作りぜんざいなどを用意し、町内外から多くの来場者でにぎわいました。

尾崎藤司^{とうじ}実行委員長は「天気にも恵まれ、地元の人に協力をしていただき本当にありがたい。今後も地域の振興を図りたいです」と語ってくれました。

道の駅「春の感謝祭」

3月25日、道の駅あゆの里矢田川、村岡ファームガーデン



▲訪れた観光客にしし鍋を振る舞いました

毎年恒例となった道の駅「春の感謝祭」が道の駅あゆの里矢田川と村岡ファームガーデンで開催されました。

あゆの里矢田川では、約5kgのしし肉を使った「しし鍋」が約200人分用意され、訪れた観光客などに振る舞われました。

阿瀬大典^{だいまは}駅長は「今後も真正面から商いをしていきたい。さまざまな取組をしますので、期待してほしい」と語ってくれました。

子育て世代支援講演会

3月18日、香住区中央公民館



▲参加した子どもたちに読み聞かせをする安藤さん

子育て世代の夫婦や親子を応援しようと、町子育て世代包括支援センターが「子育て世代支援講演会」を開催しました。

NPO法人ファザーリング・ジャパンの安藤哲也代表理事を講師に迎え「子どもが憧れる笑顔の夫婦になろう」と題し、講演が行われました。

安藤さんは「一緒にお風呂に入ったり、読み聞かせができたりするのは小学生までです。父親を楽しんでほしい」と参加者にアドバイスを送りました。

救命投浮を設置しました

3月23日、香住漁港東港



▲非常投浮を設置する香住海上保安署の署員

海へ転落したときの事故を防ごうと、香住海上保安署が簡易救命具の「非常投浮」を香住漁港東港に設置しました。

今回設置された非常投浮は、漁網などに使っている浮きに長さ約30mのロープを付け、同署が手作りで作成。大待雄治郎署長は「海での事故防止のためライフジャケットの着用をしてほしい。非常投浮の普及と事故防止の意識が高まることを期待しています」と語ってくれました。

柴山あさいち屋

4月14日、柴山港



▲「ゆっきーと遊ぼう」で楽しむ来場者

町の魅力を発見してもらおうと「柴山あさいち屋」が開催されました。

3回目となる今回は、香美町地域おこし協力隊など各出店者が趣向を凝らした「香美カレーまつり」を企画。その他にも朝来市のパフォーマーによる「ゆっきーと遊ぼう」などで来場者を楽しませました。

主催者の小嶋夕輝さんは「無事に開催できて安心しました。8月には音楽イベントを計画しているので、楽しみにしてほしいです」と語ってくれました。

八次由光木工作品展

4月14日～5月20日、木の殿堂



▲第20回森と木のクラフト展金賞の作品（左から2番目）

香住区在住の八次由光さんが制作した木工作品を見てもらおうと「八次由光木工作品展」が5月20日（日）まで開催されています。

昨年度に開催された、第20回森と木のクラフト展で金賞を受賞した作品やスプーンやコップなどの作品が多数展示されています。

木の殿堂の石井一信さんは「八次さんが丹精込めて作られた作品を見ていただきたい。皆さんのご来場をお待ちしています」と語ってくれました。

交通安全物品贈呈式

4月4日、香住小学校



▲贈呈式に参加した皆さん

町内の小中学生などの新入生が安全に登下校できるよう、町、香住交通安全協会などが横断旗やランドセルカバーなどの交通安全物品を贈呈しました。

贈呈式で浜上町長は「毎日元気に学校に通ってください。町のみんなが応援しています」とあいさつをしました。

贈呈式に参加した竹内凱理くん（6歳）は「友達と遊ぶのが楽しみ。勉強は算数を頑張ります。車に気をつけて学校に行きます」と語ってくれました。

ザゼンソウまつり

4月8日、ハチ北高原周辺



▲ザゼンソウを鑑賞する来場者

雪解けとともに芽を出し、花を咲かせ、春の訪れを感じさせる「ザゼンソウ」を多くの人にみてもらおうとハチ北観光協会が「ザゼンソウまつり」を開催しました。

ハチ北高原周辺のザゼンソウ群落は、昭和46年1月に県の天然記念物に指定されています。

田淵吉浩理事長は「このザゼンソウ群落を後世に残していくため、環境整備を行い、今後も保全活動に努めたいです」と語ってくれました。



香美町

とと 魚の式…アジ

おさかな通信



皆さん、こんにちは。「香美町とと活隊」の池本^{いけもと}大志^{だいし}です。

私は、昨年1月に大阪から香美町香住区へ1ターン移住してきました。大阪では自然食関連の会社で水産品の企画の仕事をし、国内の各産地を周り、港町や漁港を見てきました。どの町も「漁獲減少」「後継者不足」「魚価の高騰・低迷」など同じ悩みを持ち、さらには、魚食文化も全国的に低迷しています。

水産加工の歴史の深い香住で魚を身近に感じていたい、おいしい魚を食べて暮らしたいという思いで移住し、昨年4月から「とと活隊員」として活動しています。



▲水揚げされた大量のアジ

さて、今回は言わずとも知られた「アジ」をご紹介します。アジは縄文時代の貝塚から骨の化石が発見されるほど古くから食べられていたと言われ、春から夏にかけて旬を迎える魚です。「味が良いためアジ」という、何ともダジャレ好きな人が付けたような名前の由来で、漢字の『鰯』は「美味しさに『参った』の『参』から来ているとも言われています。確かに「美味しくて参った」というほど、焼いても揚げて、刺身でも干物でも、どんな料理にも使える「オールラウンドプレイヤー」と言わべき魚です。



▲アジのみりん干し

アジは白身魚のような淡白な身色ですが、実はサバやイワシのような「赤身魚」の仲間です。「青魚」に入ります。お寿司屋さんでは「ひかりもの」の一つですね。DHAやEPAが豊富で体にも優しいです。さらに、小骨も少ない魚なので、魚さばきの練習などには最適です。私もアジで「3枚下ろし」から「刺身」までを練習しました。もし失敗しても「タタキ」や「なめろう」にすれば、れっきとしたご飯のおかずになるので心配は無用です。小アジのみりん干しなどは、子どものおやつにも使われます。そこそこ漁獲があり、知名度も高く、さばきやすく調理方法もたくさんあり、また、体にも良く、おやつにもなる魚はなかなかありません。しかも今が「旬」のアジをぜひ「味」わいましょう！

総務課	36・1111	建設課	36・1961	公立香住病院	36・1166
財政課	36・1942	上下水道課	36・0420	公立村岡病院	94・0111
企画課	36・1962	議会事務局	36・1963	香住文化会館	36・1026
防災安全課	36・1190	村岡地域局	94・0321(代表)	香住老人福祉センター	36・5008
税務課	36・1113	小代地域局	97・3111(代表)	村岡老人福祉センター	98・1000
会計課	36・4321	教育委員会	94・0101	小代高齢者生活支援センター	97・2202
町民課	36・1110	香住区中央公民館 (香住区生涯学習センター)	36・3764		
消費生活センター	36・1941	村岡区中央公民館	98・1366		
健康課	36・1114	小代地区公民館 (小代区地域連携センター)	97・3966		
福祉課	36・1964				
農林水産課	36・0846				
観光商工課	36・3355				

(すべての施設の市外局番：0796)

行政放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

専用電話番号
0120・63・1210
(通話料無料)



ホームページ